

## パソコンと液晶プロジェクタのつなぎ方と利用方法

教室にデスクトップ型パソコンと天吊り型の液晶プロジェクタが既に設置してある学校においては、パソコンと液晶プロジェクタの電源を入れるだけですぐに利用できると思います。この場合、特別な準備は不用です。

この資料では、パソコンと液晶プロジェクタを教室に自分で設置して利用する場合を想定して、ノートパソコンと移動式液晶プロジェクタのつなぎ方中心に液晶プロジェクタの利用方法を説明します。

### 1 スクリーンの準備【携帯型ロールスクリーン EPSON ELPSC80 の場合】



スクリーンを床に置き、左右2カ所にあるストッパーを90度回転させて安定させます。



左右2カ所にある留め金はずし、ふたを開けます。



中央部をつかみ、そのまま上に引き上げます。



上に引き上げながら、高さを調整します。

### 2 液晶プロジェクタの準備【富士通 PJ-X2100 の場合】



スクリーンの手前から2m前後に、プロジェクタ台を置き、台の上にプロジェクタを載せます。



電源スイッチ

電源ケーブルを差し込みます(側面のソケットとコンセント)。また、電源スイッチを入れます。



レンズカバー

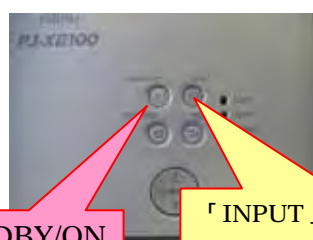
レンズカバーを開きます(左斜め前に軽く引き出し、横にスライドします)。



パソコンと液晶プロジェクタの接続には、左図のような形状のRGBケーブルを使います。



左図のように、RGBケーブルを「RGB1」の端子に差し込みます。



STANDBY/ON

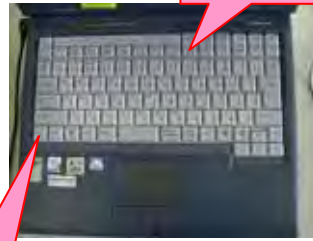
装置上面の「STANDBY/ON」のボタンを押すと投影が始まります。

「INPUT」ボタン。PC画面が映らない時は、ここを数回押し「RGB1」を選択する。

### 3 パソコン側の接続と操作【富士通のノートパソコンの場合】



左図のように、RGBケーブルをパソコン側の端子に差し込みます。



F10 キー

FN キー

パソコンの画面を液晶プロジェクタで表示するには、パソコンの[FN]キーを押しながら[F10]キーを押します。

なお、[FN]キーを押しながら[F10]キーを1回押すと「液晶プロジェクタのみ表示」、2回押すと「液晶プロジェクタとパソコン画面の両方に表示」となり、3回押すと「パソコン画面表示(最初の状態)」に戻ります。

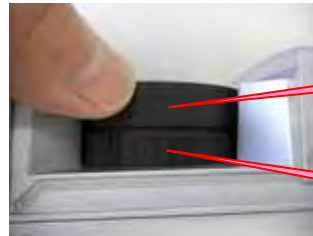
### 4 液晶プロジェクタの調整

ピントとズーム調整



最後に画像の大きさの調整、ピント調整等を適宜行ないます。

台形補正



ピント調整

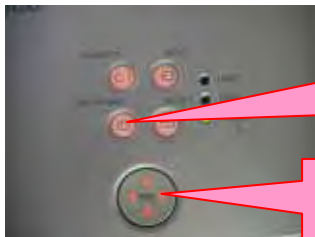
ズーム調整



このボタンを押して高さ調整バーを上下させ、映像の高さを調整する。

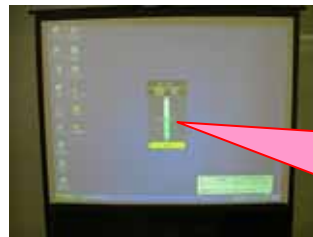


この調整ねじを回して左右の高さのバランスを調整する。



画像の台形補正を行なう時使用する「KEYSTONE」ボタン

操作メニューの表示と上下左右の選択を行なう「MENU」ボタン



「キーストン」の画面で「MENU」ボタンを上下に操作し、台形を補正する。

### 5 液晶プロジェクタの電源OFF



「STANDBY/ON」ボタンを2回押すとランプが消える。その後も冷却ファンは数分間回り続ける。



冷却ファンが完全に止まってから、電源スイッチをOFFにする。

接続方法や操作はパソコンや液晶プロジェクタのメーカーおよび機種により多少異なります。